

ログガーデン

ログガーデンでは、約90種類のバラを中心に、花木、草花やハーブが植えられていて、四季折々の季節感を楽しむことができます。



1 **ドルトムント (HKor)**
1955年。スタンダード仕立てで、ログガーデンの看板娘的存在。花持ちが良い。



2 **ブレイリーNo.2 (Ch)**
1845年。ベストオールドローズにあげられることも多いバラ。クスノキに巻きついた姿が勇壮。



3 **パット・オースチン (ER)**
1995年。デビット・オースチン作。作出者が素晴らしい花色を喜び、思わず妻の名前をつけたという。



4 **セプタード・アイル (ER)**
1996年。カップ咲きの花が上向きに咲く。芳香も素晴らしい。名はシェイクスピアの戯曲『リチャード2世』のセリアから。



5 **ロザリウム・ウッテンセン (HKor)**
1977年。ロゼット咲きの濃いピンクの花。香りもよい半つるバラ。ウッテンセンとはドイツにあるバラの町。



6 **スパニッシュ・ビューティー (LCI)**
1927年。波打つ桃色の花びらがエレガントな雰囲気、早咲きのつるバラ。強い香り。

ハーバルライフガーデン (ログガーデン内)



フレンチラベンダー
ウサギの耳のような花びらが2本飛び出すのが特徴。ポプリ、ドライフラワーなどに。



ミント
爽やかな香り。ペパーミント、スペアミントなど、種類が多い。写真は斑入り葉が美しいバインナップミント。



コモンマロウ
花をハーブティーにすると美しいブルーのお茶になり、レモンをたらすとピンクに変わる。



タイム
肉料理の香り付けに欠かせないハーブ。小さな葉が地面を覆うように生える。



ジャーマンカモマイル
花をハーブティーとして利用。心身をリラックスさせる効果があるといわれる。



ローズ&ハーブフェスティバル2014

5/17(土)~6/1(日) **ガイドマップ**

広島市植物公園

バラ園 (メイン会場)

展示温室 ハーブ展

大温室前広場

- ・植物苗・バラ・ハーブ
- ・バラグッズの販売
- ・アロマグッズの販売
- ・クラフトコーナー
- ・バラを使ったスイーツの販売



ログガーデン



講堂

- ・講演会
- ・バラの香りの抽出体験

イベント広場

- ・ローズコンサート
- ・五日市物産コーナー
- ・バラ作り講習会

屋外展示場

屋外展示場では、当園自慢のオールドローズのコレクションをご覧いただけます。 ※オールドローズは花季が短いのでご覧いただけない日もございます。



紫玉 G
19世紀後半に日本で作出されたと考えられる。ダマスク系の香りが強いバラ。



ロサ・ガリカ・ヴェルシヨロ G
アボセカリ・ローズの枝変わり。赤と白のストライプ花が美しい。バラの画家ルドゥーテもこのバラを描いた。



ジャンヌ・ダルク A
1818年。グレーがかかった葉も魅力的。フランスを救うために現れたとされる少女の名から。



ファルタシラトゥール C
作出年不詳。非常に強い香り。名は植物画で有名なフランスの画家の名にちなむ。



ルイーズ・オディエ B
1851年。オールドローズの中でも整った花形。やや大きくなるので誘引するとよい。秋にも少し咲く。



マダム・ブレイビー T
1846年。ティーの香り。「ラ・フランス」の交配親とされてきたが、疑問もたれている。



エルモサ Ch
1837年以前。エルモサはスペイン語で美しいの意味。春から秋まで繰り返し咲く四季咲き。



パリエガータ・デ・ポロニャ B
1909年。イタリア生まれの絞り咲きの人気花。ダマスク系の強い香りがある。生育旺盛で、つるバラとしても扱うことができる。



ポール・ネイロシ HP
1869年。10cm以上の大輪花。返り咲きもする。フルーツ香がある。「開台の夢」とも呼ばれている。



ラウリッター HMac
1936年。モダンローズに分類される。遅咲き。ころころとしたかわいいカップ咲きの花が印象的。鉢でもつるでも楽しめる。



シャポー・ドゥ・ナポレオン M
1827年。三角形のつぼみの形をナポレオンの帽子に見立てた。ダマスク香が強く香る。グンティフォリア (C) に分類されることもある。

バラ園 (メイン会場)

バラ園では、モダンローズや世界の野生種など約570種類のバラが咲き誇ります。(一部オールド・ローズもあります) またバラ園から見る瀬戸内海や島々の景色はとてきれいで見ごたえがあります。

往年の名花を觀賞する(オールド・ローズとアーリー・モダン・ローズ)

1 **パロン・ジロ・ドゥ・ラン (HP)**
1897年。濃赤の花弁の縁に白い色が乗る覆輪。強いダマスク香がある。返り咲き。

2 **ペルル・ドゥ・ジャルダン (T)**
1874年。ティー系の中でも希少な黄色系。咲き始めは高芯剣弁咲きだが、後にクォーターロゼット咲きになる。

3 **マリア・カラス (HT) (ミス・オールド・アメリカン・ビューティー)**
1965年。伝説のプリマドンナ、マリアカラスに捧げられた。濃ローズ色の半剣弁高芯咲きで、存在感抜群。

4 **ゲルス・アン・テブリッツ (日光、賢治のバラ) (B)**
1897年。強い香り。チャイナ(Ch)に分類されることもある。宮沢賢治が栽培していたことで知られる。

5 **マーメイド (HBc)**
1918年。遅咲きのつるバラ。艶のある葉にクリームイエローの重花。根強い人気がある。

バラの香りを楽しむ

12 **アイズ・フォー・ユー (HPeP)**
2009年。ロサ・ベリシカの特徴である花弁に暗赤色のプロッチがある。スパイシーな香り。春と秋で全く咲き方が異なる。

13 **ダブル・デライト (HT)**
1977年。覆輪の鮮やかな色と強い芳香で「2つの喜び」を意味して命名された。フルーティな香り。

6 **アイズバーグ (シュネビッツェン) (F)**
1958年。作りやすく、多花性の清楚な白バラとして今日も広く栽培される。

7 **クリムゾン・グローリー (HT)**
1935年。クリムゾンレッドの色合いと、濃厚なダマスク香が印象的な品種で、その後のバラ育種に大きな影響を与えた。

8 **マダム・パタフライ (HT)**
1918年。オフィーリアの枝変わり。整った剣弁高芯咲で戦前の名花。オペラ「蝶々夫人」にちなむ。

9 **クイーン・エリザベス (HT)**
1954年。桃色の丸弁の房咲き。かすかにティー系の香り。世界バラ会連合「バラの栄誉の殿堂」入り品種。

10 **ゴールデン・セプター (HT)**
1950年。純黄色の剣弁高芯整形花で、一世を風靡した名花。

11 **プレジデント・マーシャ (HT)**
1933年。現在ほとんど見ることできない、忘れられたアーリー・モダン・ローズ。

14 **カザンリク (D)**
ブルガリアで香料用に栽培されているバラ。正式にはトリギンティベタラという。濃厚なダマスクの香り。

15 **レディ・ヒリントン (T)**
1910年。典型的なティーの香り。アプリコットのやさしい色合いの花がうつむいて咲く。

16 **シャルル・ド・ゴール (HT)**
1974年。濃ラベンダー色の半剣弁高芯咲きで、強いブルーの香り。名はフランスの大統領にちなむ。

バラの歴史をたどる

17 **ラ・フランス (HT)**
1867年。ハイブリッド・ティー (HT) の第1号品種で、歴史的価値が高い。剣弁の花弁が幾重にも重なる抱え咲き。

18 **サマー・ダマスク (D) (ダマスクナ)**
ロサ・ガリカとロサ・フェニキアが交雑したものと考えられ、香りが良く古くから栽培される。

19 **オールド・ブラッシュ (バーソズ・ピンク・チャイナ) (Ch)**
1759年以前。中国産バラの一つ。四季咲き性の現代バラの作出に大きな役割を果たした。

23 **クイーン・オブ・ブルボンズ (B)**
1834年。当時フランス領であったブルボン島(現在のレユニオン島)の交雑バラが起源とされている。

日本で生まれた名花

24 **雲取 (HT)**
1940年。日本のバラの歴史上、重要な品種(日本ばら会認定)だが、認定当時、当園にしか株が残されていなかった。

25 **天の川 (HT)**
1956年。鈴木省三氏。氏が初めて海外コンクールで入賞した記念すべき品種。

ヒロシマとバラに平和へのおもいを込めて

29 **ドクター・アルバート・シュバイツァー (HT)**
アルバート・シュバイツァー博士(ノーベル平和賞受賞)の秘書であったアリ・シルバー女史が、講演のため広島を訪れたのがきっかけで、1969年に広島市に寄贈された。

30 **ピース (HT)**
1939年にフランスで作出されたが、苗木は戦火を逃れアメリカに渡った。終戦直後の1945年に平和への願いをこめて名づけられた。

20 **アポセカリ・ローズ (G) (ガリカ・オフィキナリス)**
南部ヨーロッパ、小アジア、コーカサス原産で、古代から薬として使われている。

21 **ケンティフォリア・ムスコサ (コムニクス) (M)**
1750年以前。ケンティフォリアの突然変異により現れた最初のモス系品種とされる。

22 **ダッチェス・オブ・ポートランド (P)**
1809年。フランスで育成された最初のポートランドローズ。起源はよく分かっていない。コンパクトな樹勢。

26 **長良 (HT)**
1940年。日本のバラの歴史上、重要な品種(日本ばら会認定)だが、認定当時、当園にしか株が残されていなかった。

27 **天津乙女 (HT)**
1960年。寺西菊雄氏。かつて黄色系の代表種として多く栽培された。宝塚歌劇団のトップスターにちなむ。

28 **ブラック・ティ (HT)**
1973年。岡本勘治郎氏。現在も切り花として流通するロングセラー。

31 **広島平和記念公園 (F)**
広島市との間にバラを介した民間交流のあったドイツ中西部のエルトビレ市から、1999年に広島市に寄贈された。

32 **スプニール・ド・アンネ・フランク (アンネのバラ) (F)**
ナチスの強制収容所で15歳の生涯を閉じたアンネ・フランクにちなんだバラ。アンネの隠れ家の庭から持ち帰った種子をもとに改良した。

33 **レッド・ラジアンズ (永井博士のバラ) (HT)**
1949年に長崎広島原爆都市青年交歓会が行われたことと、長崎の永井隆博士(医師・平和運動家)邸にあったものが広島に寄贈された。

主なモダンローズの系統

- ハイブリッド・ティー (HT) 完全四季咲き性で大輪花。モダンローズの代表的な系統。
- フロリバンダ (F) 完全四季咲き性で房咲き中輪花。多花性で現代のバラ園には欠かせない系統。
- ラージフワード・クライマー (LCI) 中〜大輪つるバラの総称。一季咲き、四季咲きの品種がある。
- ポリアンサ (P) 日本のノイバラとチャイナ(Ch)などをもとに改良された系統で、小輪、房咲きで多花性の系統。四季咲きの品種が多い。
- ハイブリッド・コルデシー (HKor) ドイツのコルデス社が改良した品種群で、ハマナツとテリハイバラの交配種のロサ・コルデシーから改良された系統。四季咲きで耐寒性・耐病性の強い平つるバラが多い。
- ハイブリッド・マクランサ (HMac) ロサ・マクランサ(ロサ・ガリカ)に含まれることもあるもとに育成された系統。系統としてはシュラブ(S)に含まれることもある。
- シュラブ (S) ほかのどの系統にも属することができない系統。平つる性になり、株が広がるものが多い。一季咲き、四季咲きの品種がある。
- イングリッシュローズ (ER) イギリスのデビッド・オースタン社が改良した品種群で、オールドローズのような花形だが四季咲きで香りの良い品種が多い。シュラブ(S)に含まれる。

主なオールドローズの系統

- ガリカ (G) ヨーロッパに古くからあった系統で、薬用・香料用、コンパクトな樹勢。
- ダマスク (D) 中東からヨーロッパにもたらされたバラ。ブルガリアで香料用に生産されている。
- アルバ (A) ヨーロッパの寒冷地に適した系統。白〜淡ピンク系の花色が多く、灰白色の葉。
- ケンティフォリア (C) ヨーロッパで16〜18世紀にかけて生み出された交配バラ。キャベツの葉のように花弁が多く、丸弁のカップ咲。
- モス (M) 18世紀中ごろにケンティフォリア(C)から派生した系統で、かぐや花首に綿毛があり、コケが密生しているように見える。
- チャイナ (Ch) 中国原産のコウシンバラとロサ・ギガンテアに起源を持つ系統。四季咲き性・剣弁。
- ティー (T) 中国原産のロサ・ギガンテアに由来するティーの香りを持つ系統。
- ブルボン (B) 1800年代初頭にインド洋ブルボン島(レユニオン島)にあった欧州・東洋系混血バラに由来する系統。返り咲きしやすい。
- ポートランド (P) 1700年代終わりにはフランスで知られていた起源があいまいな系統。
- ノフゼット (N) アメリカで育成された平つるまたはつる性の欧州・東洋系混血バラ。返り咲きしやすい。
- ハイブリッド・バーベチュアル (HP) 大輪・返り咲きで、19世紀後半、ハイブリッド・ティー系が出現する前の代表的系統。
- ハイブリッド・ブラクテアータ (HBc) カカヤンバラを交配親に使った品種群。

その他の系統

- 原種 (Sp) 世界各地にある野生のバラ。植物公園には約100種あります。

